

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月10日

上場会社名 大阪工機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3173 URL http://www.osk-k.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳川 重昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 南 雄治 (TEL) 06(6765)8201
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,661	13.9	488	41.9	523	40.7	302	100.6
26年3月期第3四半期	12,870	14.5	344	7.2	372	15.0	150	△31.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 314百万円 (36.5%) 26年3月期第3四半期 230百万円 (10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	88.08	—
26年3月期第3四半期	43.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,898	4,096	34.2
26年3月期	11,254	3,860	34.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,075百万円 26年3月期 3,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
27年3月期	—	11.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,162	12.7	709	30.6	704	23.4	384	32.2	112.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	3,434,420株	26年3月期	3,434,420株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	65株	26年3月期	65株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	3,434,355株	26年3月期3Q	3,434,370株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）における我が国経済は、消費税税率引上げに伴う個人消費の冷え込み等の動きが見られたものの、各種政策の効果が発現する中で、緩やかな回復基調で推移いたしました。先行きについても、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなどのリスクはあるものの引き続き緩やかに回復していくことが期待されます。

当社グループの属する機械工具業界におきましても、概ね同様の状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループでは、2018年3月期を最終年度とする中期経営計画の初年度として、国内におきましては、引き続き生産性向上に向けた提案営業による拡販活動に努めてまいりました。また、日本国際工作機械見本市『JIMTOF2014』への出展により新規顧客の開拓にも努めてまいりました。

海外におきましては、中国の連結子会社である中阪貿易（上海）有限公司が青島と深圳に、ベトナムの連結子会社であるCOMINIX VIETNAM CO., LTDがホーチミンに、それぞれ事務所を開設し拡販活動に努めてまいりました。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は14,661,562千円（前年同四半期比13.9%増）、営業利益は488,600千円（前年同四半期比41.9%増）、経常利益は523,715千円（前年同四半期比40.7%増）、四半期純利益は302,532千円（前年同四半期比100.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①切削工具事業

切削工具事業につきましては、共栄機工株式会社の連結子会社化や、主要販売先である自動車業界や航空機業界が好調であったことなどにより、売上高及びセグメント利益は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は9,627,031千円（前年同四半期比10.8%増）、セグメント利益は201,282千円（前年同四半期比59.9%増）となりました。

②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、飲料缶メーカー向けの機械設備等の売上が増加するなど、売上高は好調に推移いたしました。人員の増加により人件費が増加した影響もあり、セグメント利益は減少いたしました。

この結果、売上高は2,076,757千円（前年同四半期比6.1%増）、セグメント利益は224,632千円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、主要子会社である中国の連結子会社及びタイの連結子会社が堅調に推移したことに加え、メキシコの連結子会社において自動車業界向けの売上が増加したこと等により、売上高及びセグメント利益は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,345,285千円（前年同四半期比37.8%増）、セグメント利益は41,990千円（前年同四半期は36,859千円のセグメント損失）となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、大口設備投資の案件を受注した影響もあり売上高は前年同四半期と比較して増加いたしました。前年同四半期と比較して利益率の低い商品の割合が多かったためセグメント利益は減少いたしました。

この結果、売上高は612,487千円（前年同四半期比17.8%増）、セグメント利益は23,541千円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて622,651千円増加し、9,585,284千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が366,590千円、商品が219,552千円、現金及び預金が101,669千円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて21,758千円増加し、2,313,680千円となりました。これは、主にその他の無形固定資産が35,823千円、投資その他の資産が33,407千円それぞれ増加した一方で、のれんの償却により、のれんが45,290千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて644,410千円増加し、11,898,964千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて380,342千円増加し、6,731,844千円となりました。これは、短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が188,512千円、法人税等の支払により未払法人税等が153,324千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27,157千円増加し、1,070,163千円となりました。これは退職給付に係る負債が増加したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて407,500千円増加し、7,802,008千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて236,910千円増加し、4,096,955千円となりました。これは、利益剰余金が増加した一方で、配当金の支払いにより77,273千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,167,316	1,268,986
受取手形及び売掛金	3,882,214	4,248,804
商品	3,484,351	3,703,903
その他	462,983	400,313
貸倒引当金	△34,234	△36,724
流動資産合計	8,962,632	9,585,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	341,724	339,151
土地	1,027,128	1,027,128
その他(純額)	91,947	88,460
有形固定資産合計	1,460,800	1,454,740
無形固定資産		
のれん	266,940	221,650
その他	39,653	75,476
無形固定資産合計	306,594	297,127
投資その他の資産		
その他	552,505	585,913
貸倒引当金	△27,979	△24,100
投資その他の資産合計	524,526	561,812
固定資産合計	2,291,921	2,313,680
資産合計	11,254,553	11,898,964
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,282,826	4,094,313
短期借入金	1,161,571	1,824,110
1年内返済予定の長期借入金	318,978	347,692
未払法人税等	202,465	49,140
賞与引当金	148,921	80,042
役員賞与引当金	21,190	20,450
その他	215,549	316,095
流動負債合計	6,351,501	6,731,844
固定負債		
長期借入金	739,374	737,007
役員退職慰労引当金	146,903	145,542
退職給付に係る負債	148,575	177,142
その他	8,152	10,471
固定負債合計	1,043,006	1,070,163
負債合計	7,394,508	7,802,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	3,033,984	3,259,244
自己株式	△36	△36
株主資本合計	3,714,344	3,939,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,201	45,337
為替換算調整勘定	94,024	90,349
その他の包括利益累計額合計	131,226	135,687
少数株主持分	14,474	21,665
純資産合計	3,860,045	4,096,955
負債純資産合計	11,254,553	11,898,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	12,870,632	14,661,562
売上原価	10,342,211	11,756,034
売上総利益	2,528,421	2,905,528
販売費及び一般管理費	2,184,012	2,416,928
営業利益	344,408	488,600
営業外収益		
受取利息	364	936
受取配当金	1,916	1,331
仕入割引	36,176	44,117
為替差益	16,336	24,349
その他	20,357	11,685
営業外収益合計	75,151	82,420
営業外費用		
支払利息	11,209	14,463
売上割引	17,762	20,382
その他	18,295	12,459
営業外費用合計	47,267	47,305
経常利益	372,292	523,715
特別利益		
保険解約返戻金	—	8,584
特別利益合計	—	8,584
税金等調整前四半期純利益	372,292	532,299
法人税、住民税及び事業税	190,857	195,374
過年度法人税等	103,880	—
法人税等調整額	△73,253	28,016
法人税等合計	221,483	223,390
少数株主損益調整前四半期純利益	150,808	308,908
少数株主利益	—	6,376
四半期純利益	150,808	302,532

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	150,808	308,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,489	8,135
為替換算調整勘定	50,922	△2,860
その他の包括利益合計	79,411	5,274
四半期包括利益	230,220	314,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,908	306,992
少数株主に係る四半期包括利益	1,311	7,190

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	8,690,469	1,958,107	1,701,975	520,080	12,870,632	—	12,870,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	15,788	—	15,788	△15,788	—
計	8,690,469	1,958,107	1,717,763	520,080	12,886,421	△15,788	12,870,632
セグメント利益 又は損失(△)	125,852	228,191	△36,859	26,704	343,889	518	344,408

(注) 1 セグメント利益の調整額518千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「切削工具事業」セグメントにおいて、株式の取得に伴い、日三工業株式会社及び共榮機工株式会社を連結子会社にしております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては301,935千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	9,627,031	2,076,757	2,345,285	612,487	14,661,562	—	14,661,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	21,017	—	21,017	△21,017	—
計	9,627,031	2,076,757	2,366,303	612,487	14,682,580	△21,017	14,661,562
セグメント利益	201,282	224,632	41,990	23,541	491,447	△2,847	488,600

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,847千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。